

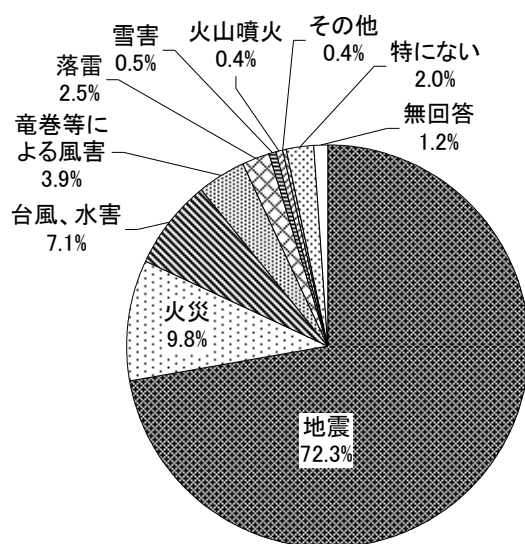
## 5 地域防災について

### (1) 日頃最も不安に思う災害

問10 あなたが、日ごろ最も不安に思う災害はどのようなものですか。  
次の中から1つ選んでください。

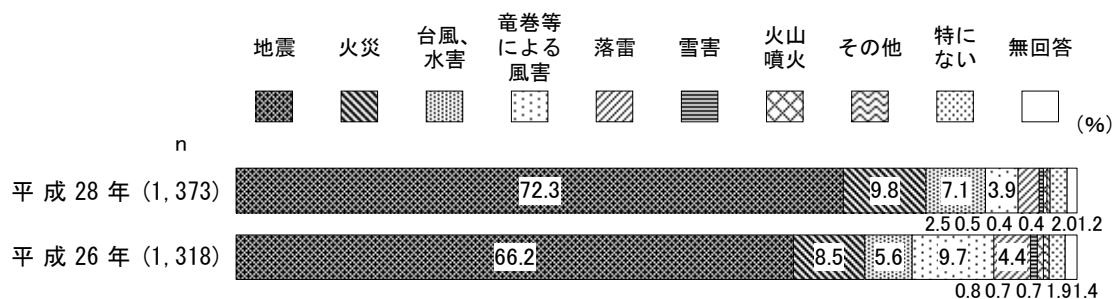
[n=1,373]

1	地震	72.3%	6	雪害	0.5%
2	火災	9.8%	7	落雷	2.5%
3	台風、水害	7.1%	8	その他	0.4%
4	竜巻等による風害	3.9%	9	特にない	2.0%
5	火山噴火	0.4%		(無回答)	1.2%



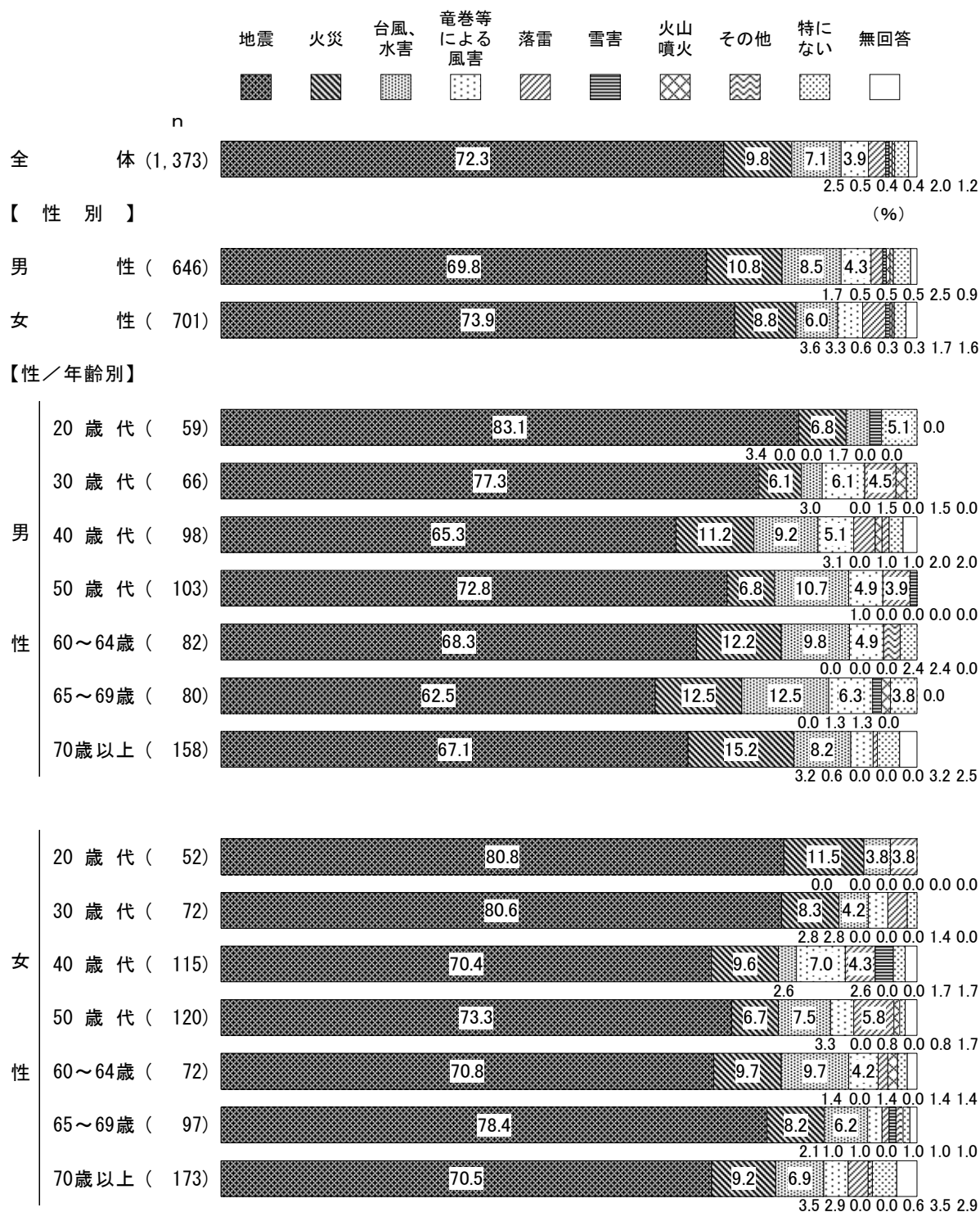
(n=1,373)

全体で見ると、「地震」(72.3%)が7割を超えて最も高く、次いで「火災」(9.8%)、「台風、水害」(7.1%)、「竜巻等による風害」(3.9%)の順となっている。



平成26年の調査結果と比較すると、「地震」が6.1ポイント増加している。一方、「竜巻等による風害」が5.8ポイント減少している。

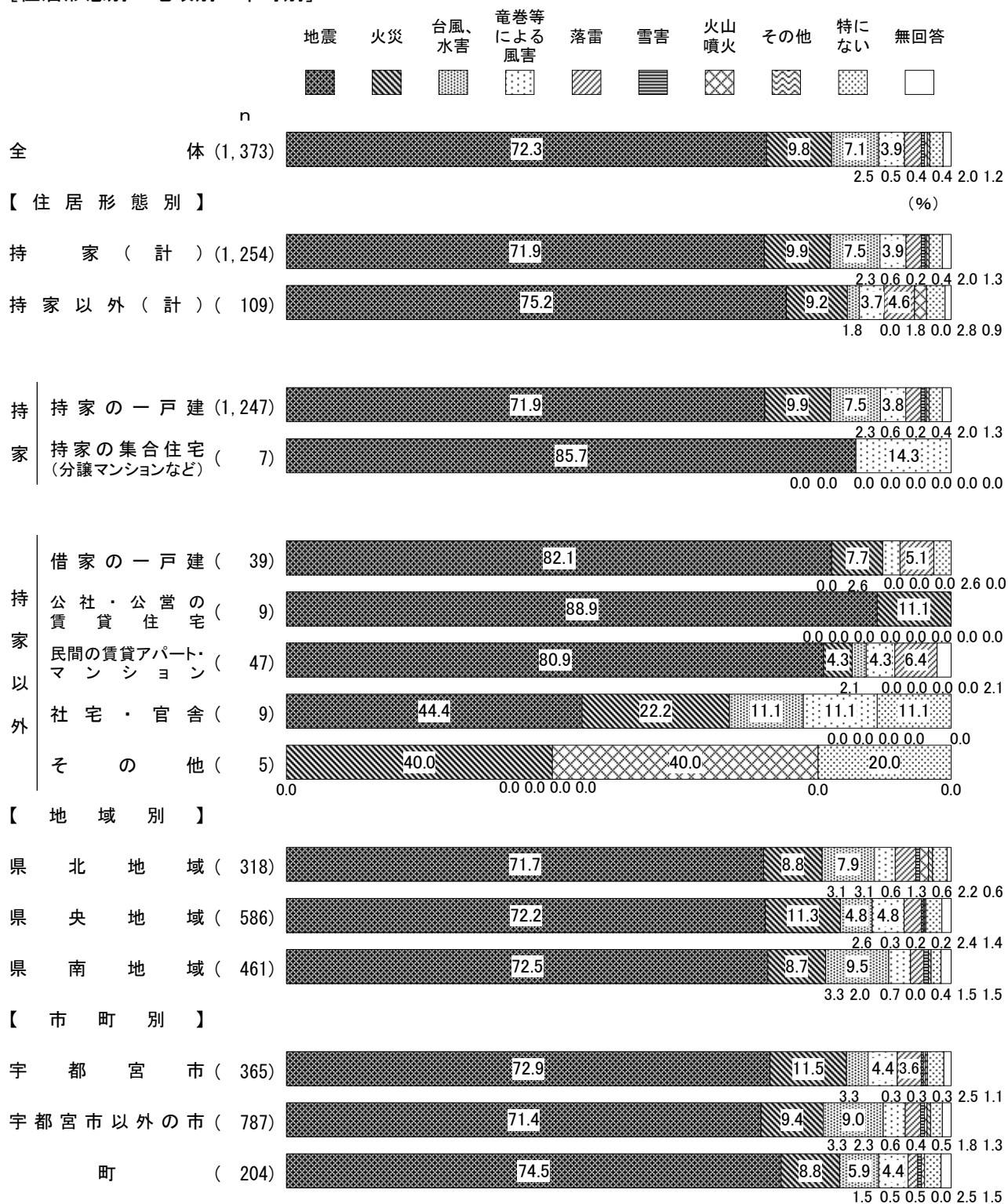
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「地震」では〈女性〉(73.9%)が〈男性〉(69.8%)より4.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「地震」では〈男性20歳代〉が83.1%と高くなっている。「火災」では〈男性70歳以上〉が15.2%と高くなっている。

[住居形態別・地域別・市町別]



住居形態別でみると、「地震」では〈持家以外(計)〉(75.2%)が〈持家(計)〉(71.9%)より3.3ポイント高くなっている。

地域別でみると、「火災」では〈県央地域〉が11.3%と高くなっている。「台風、水害」では〈県南地域〉が9.5%と高くなっている。

市町別でみると、「地震」では〈町〉が74.5%と高くなっている。「火災」では〈宇都宮市〉が11.5%と高くなっている。「台風、水害」では〈宇都宮市以外の市〉が9.0%と高くなっている。

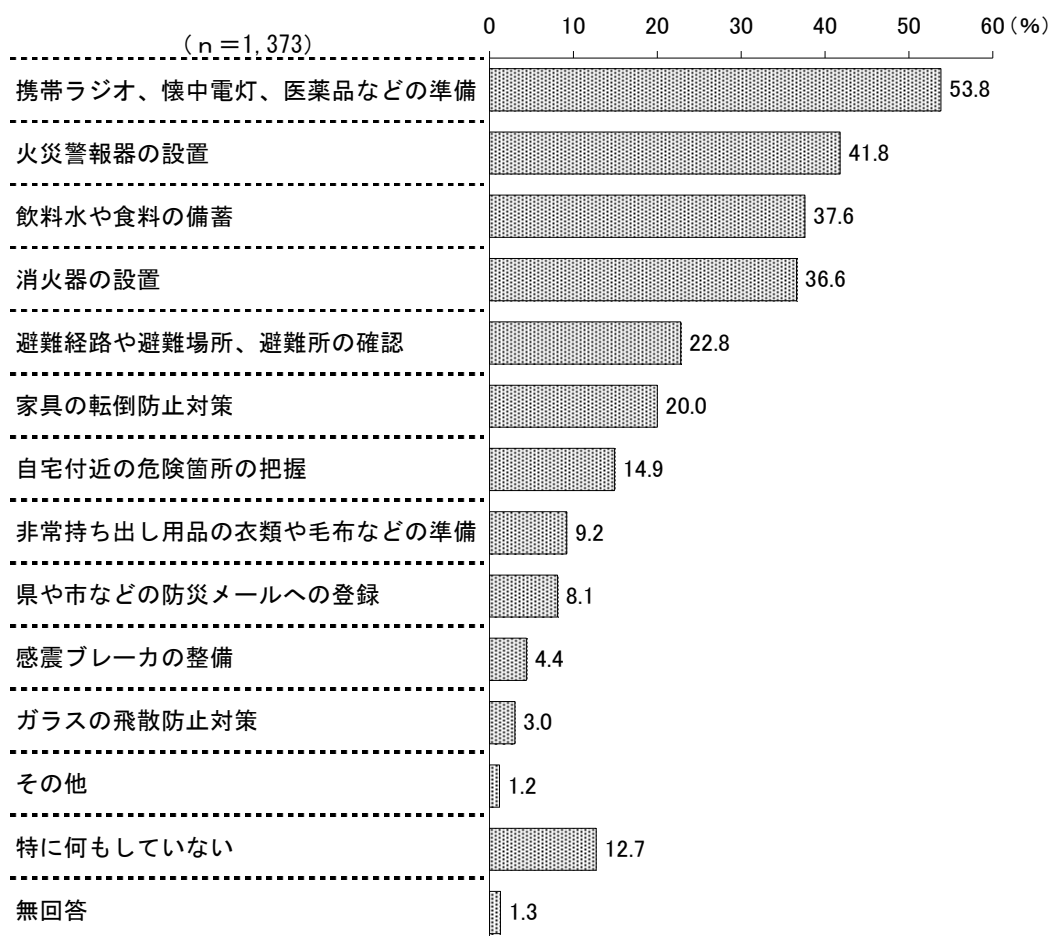
## (2) 災害に対する備え

問11 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。  
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,373]

1 消火器の設置	36.6%	8 感震ブレーカ(※)の整備	4.4%
2 火災警報器の設置	41.8	9 避難経路や避難場所、避難所の確認	22.8
3 家具の転倒防止対策	20.0	10 県や市などの防災メールへの登録	8.1
4 ガラスの飛散防止対策	3.0	11 自宅付近の危険箇所の把握	14.9
5 飲料水や食料の備蓄	37.6	12 その他	1.2
6 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備	53.8	13 特に何もしていない(無回答)	12.7
7 非常持ち出し用品の衣類や毛布などの準備	9.2		1.3

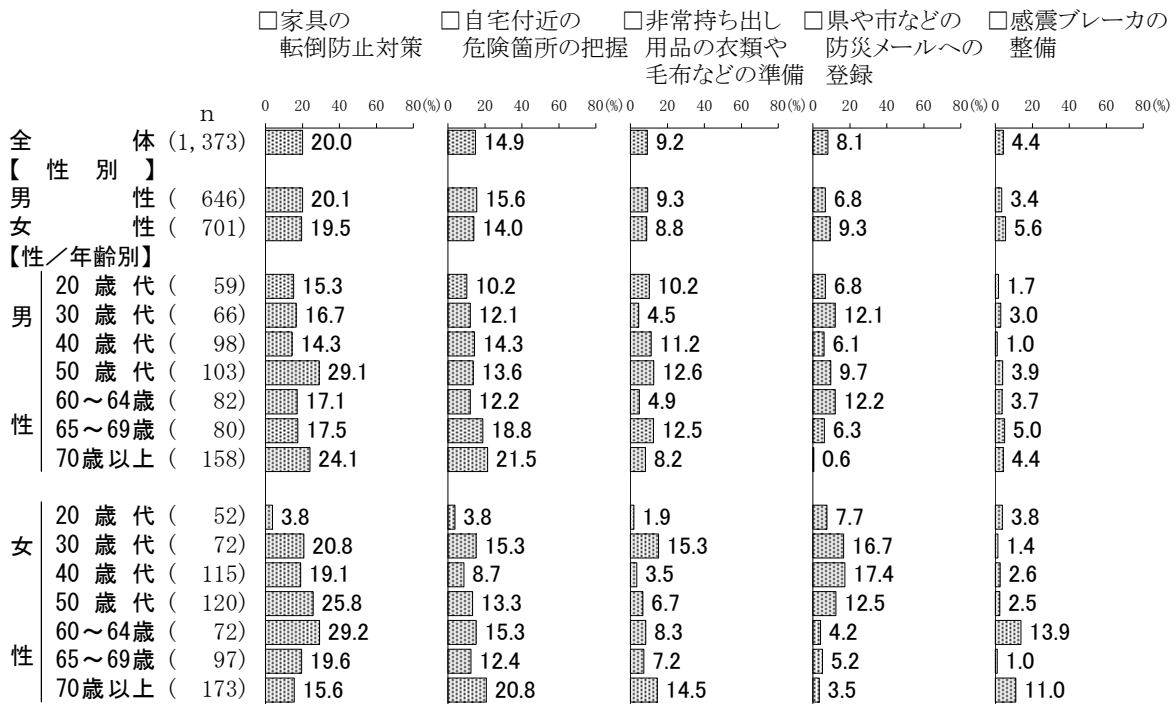
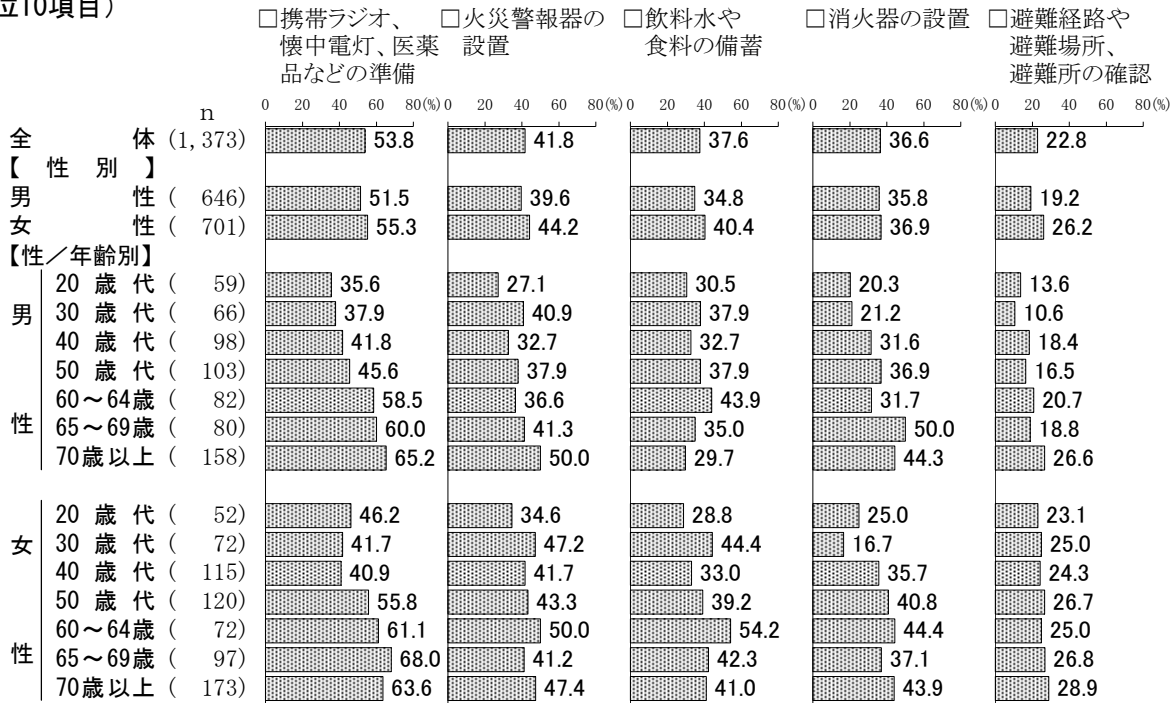
※ 感震ブレーカとは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に、配線用ブレーカ又は漏電ブレーカ等を遮断する器具をいいます。



全体でみると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」(53.8%)が5割を超えて最も高く、次いで「火災警報器の設置」(41.8%)、「飲料水や食料の備蓄」(37.6%)、「消火器の設置」(36.6%)の順となっている。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

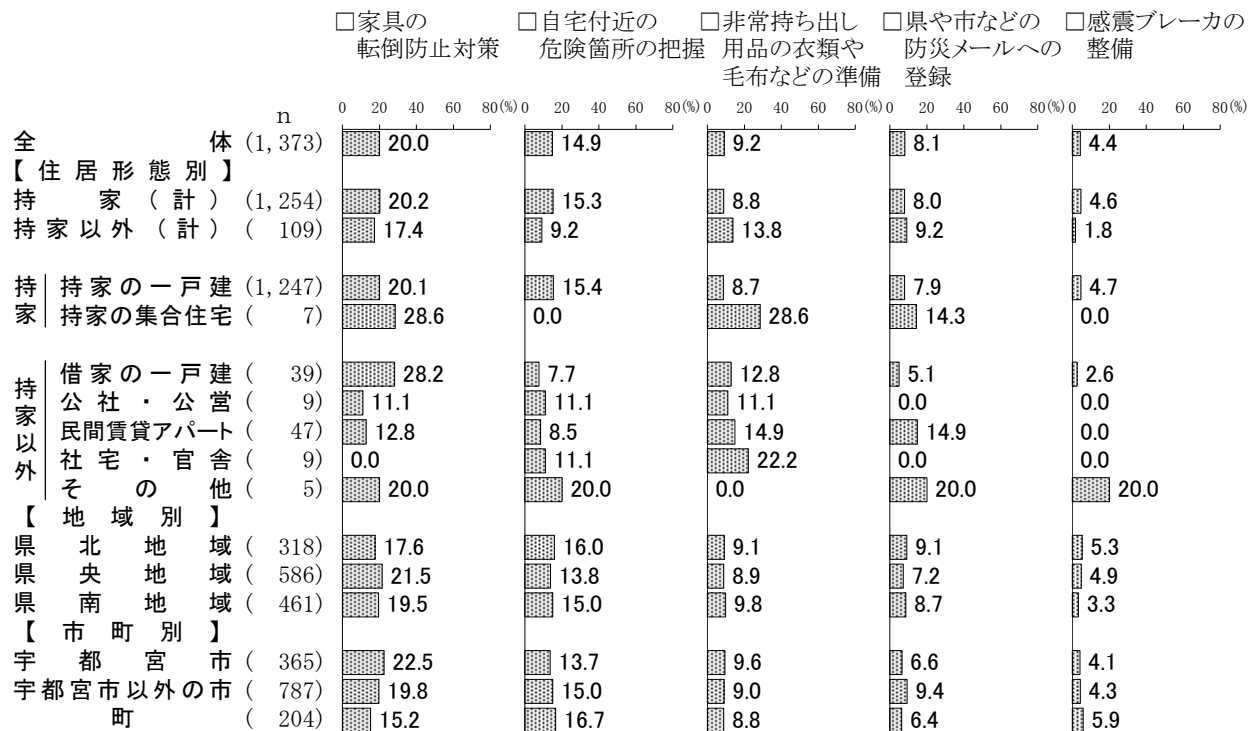
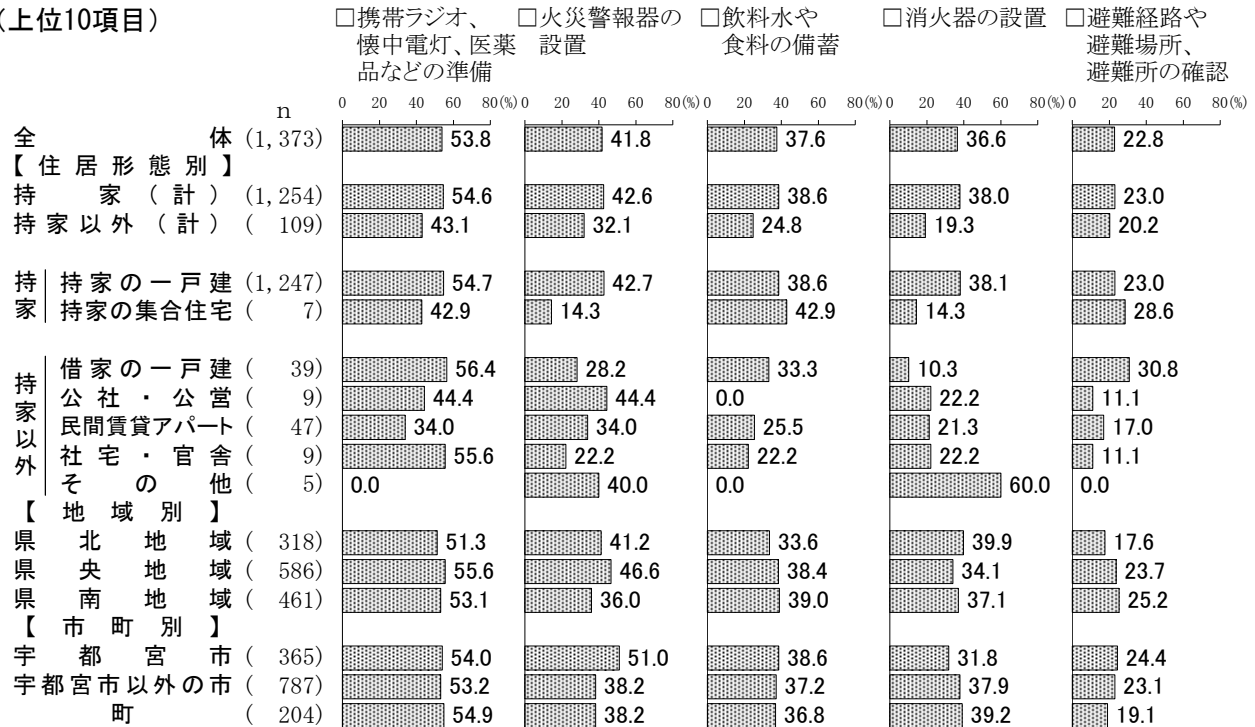


性別でみると、「避難経路や避難場所、避難所の確認」では〈女性〉(26.2%)が〈男性〉(19.2%)より7.0ポイント高くなっている。「飲料水や食料の備蓄」では〈女性〉(40.4%)が〈男性〉(34.8%)より5.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈女性65~69歳〉が68.0%と高くなっている。「火災警報器の設置」では〈男性70歳以上〉と〈女性60~64歳〉がともに50.0%と高くなっている。「飲料水や食料の備蓄」では〈女性60~64歳〉が54.2%と高くなっている。「消火器の設置」では〈男性65~69歳〉が50.0%と高くなっている。

[住居形態別・地域別・市町別]

(上位10項目)



住居形態別でみると、「消火器の設置」では〈持家(計)〉(38.0%)が〈持家以外(計)〉(19.3%)より18.7ポイント高くなっている。「飲料水や食料の備蓄」では〈持家(計)〉(38.6%)が〈持家以外(計)〉(24.8%)より13.8ポイント高くなっている。「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などの準備」では〈持家(計)〉(54.6%)が〈持家以外(計)〉(43.1%)より11.5ポイント高くなっている。「火災警報器の設置」では〈持家(計)〉(42.6%)が〈持家以外(計)〉(32.1%)より10.5ポイント高くなっている。

地域別でみると、「火災警報器の設置」では〈県央地域〉が46.6%と高くなっている。

市町別でみると、「火災警報器の設置」では〈宇都宮市〉が51.0%と高くなっている。

### (3) 地域の指定避難所・指定緊急避難場所の認知度

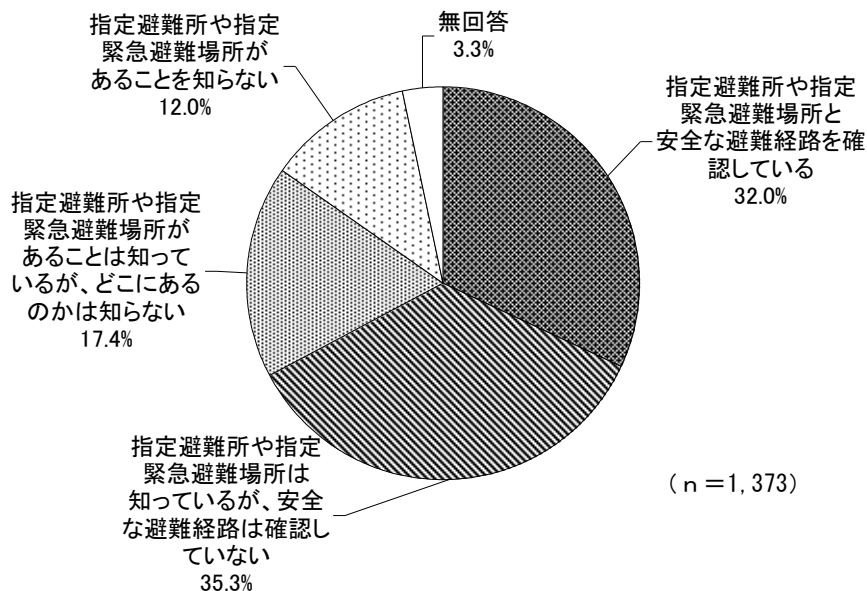
問12 あなたは、お住まいの地域の指定避難所（※1）や指定緊急避難場所（※2）についてどの程度知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※1 指定避難所とは、災害の危険性があり避難した住民等や、災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設をいいます。

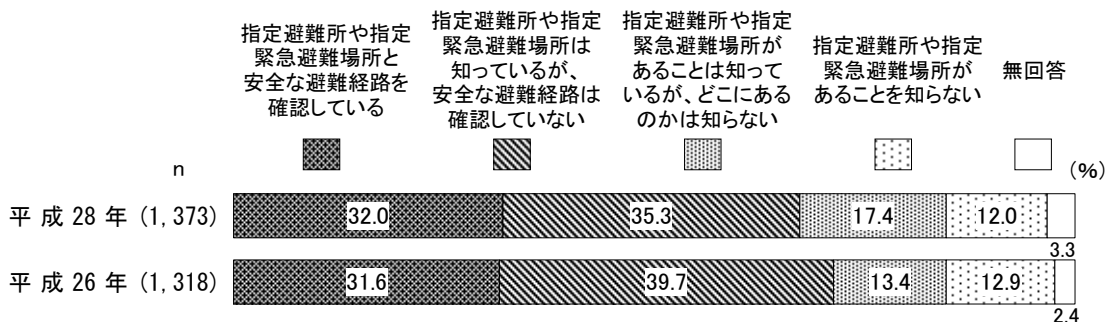
※2 指定緊急避難場所とは、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、その危険から逃れるための避難場所として、災害の種類ごとに指定された施設又は場所をいいます。

[n=1,373]

1	指定避難所や指定緊急避難場所と安全な避難経路を確認している	32.0%
2	指定避難所や指定緊急避難場所は知っているが、安全な避難経路は確認していない	35.3
3	指定避難所や指定緊急避難場所があることは知っているが、どこにあるのかは知らない	17.4
4	指定避難所や指定緊急避難場所があることを知らない	12.0
	(無回答)	3.3

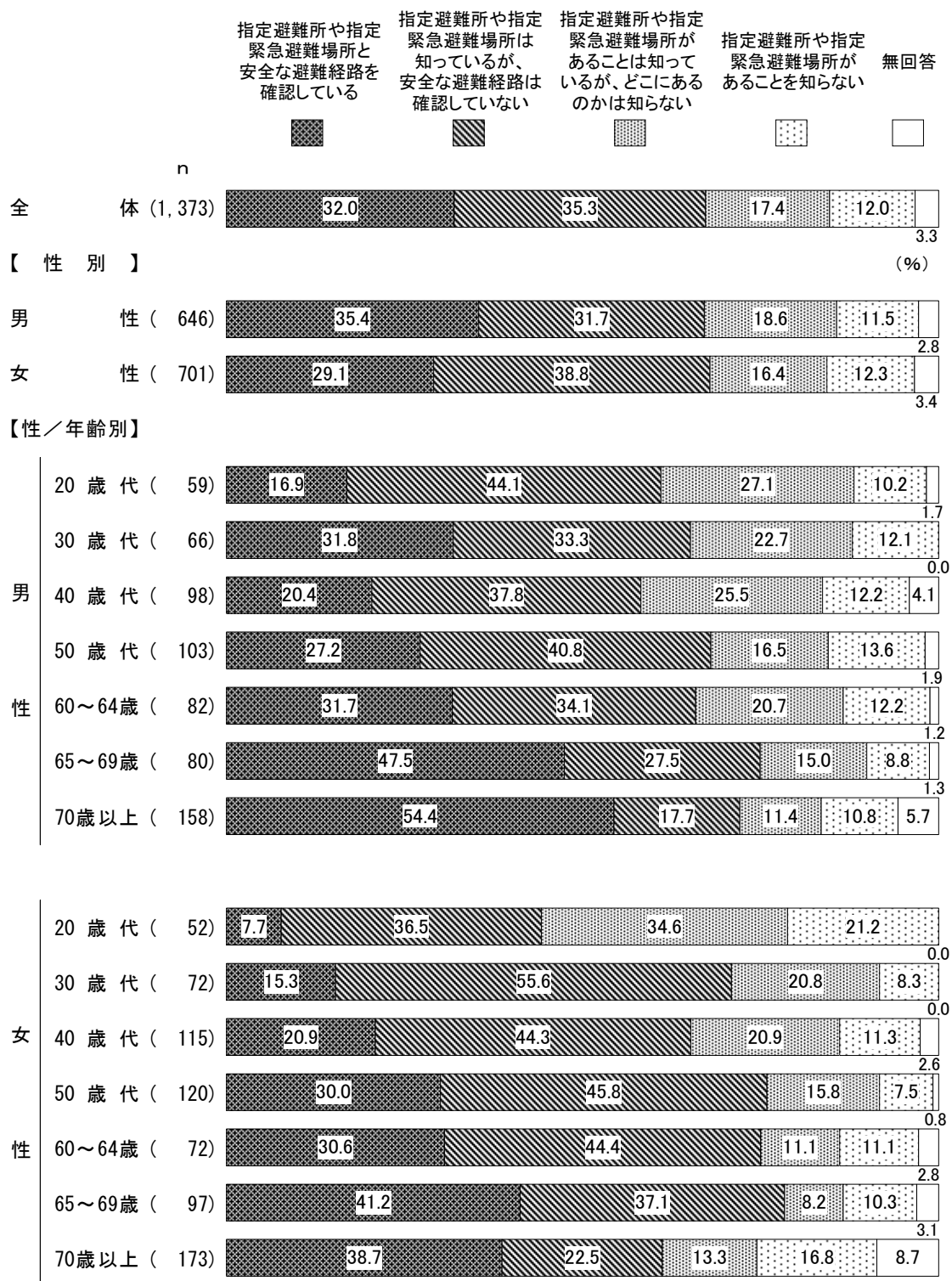


全体でみると、「指定避難所や指定緊急避難場所と安全な避難経路を確認している」(32.0%)は3割を超えている。「指定避難所や指定緊急避難場所は知っているが、安全な避難経路は確認していない」(35.3%)は3割半ばで、「指定避難所や指定緊急避難場所があることは知っているが、どこにあるのかは知らない」(17.4%)は2割近く、「指定避難所や指定緊急避難場所があることを知らない」(12.0%)は1割を超えている。



平成26年の調査結果と比較すると、「指定避難所や指定緊急避難場所は知っているが、安全な避難経路は確認していない」が4.4ポイント減少している。一方、「指定避難所や指定緊急避難場所があることは知っているが、どこにあるのかは知らない」が4.0ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]

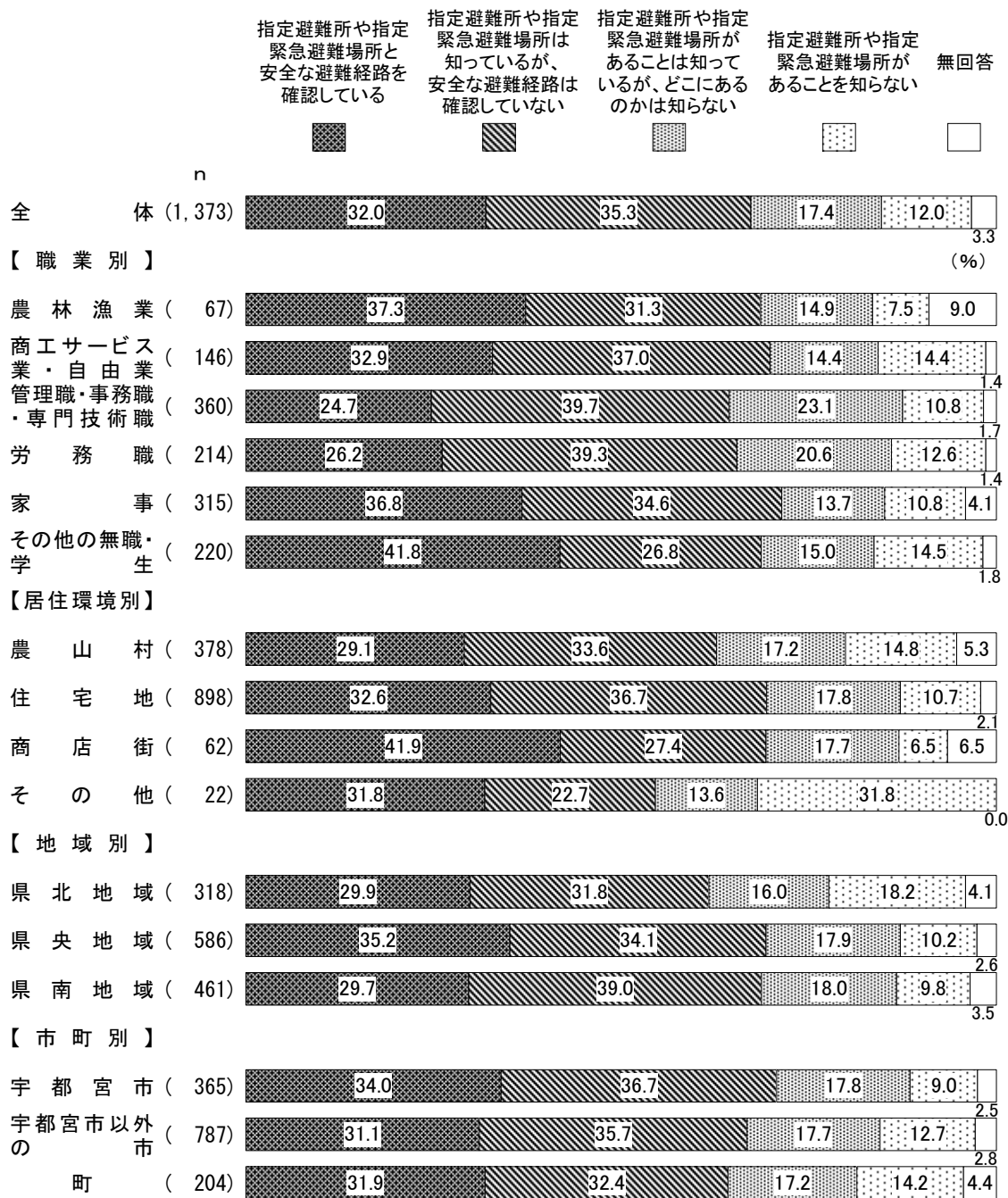


性別でみると、「指定避難所や指定緊急避難場所と安全な避難経路を確認している」では〈男性〉(35.4%)が〈女性〉(29.1%)より6.3ポイント高くなっている。「指定避難所や指定緊急避難場所は知っているが、安全な避難経路は確認していない」では〈女性〉(38.8%)が〈男性〉(31.7%)より7.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「指定避難所や指定緊急避難場所と安全な避難経路を確認している」では〈男性70歳以上〉が54.4%と高くなっている。「指定避難所や指定緊急避難場所があることは知っているが、どこにあるのかは知らない」では〈女性20歳代〉が34.6%と高くなっている。



[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「指定避難所や指定緊急避難場所と安全な避難経路を確認している」では〈その他の無職・学生〉が41.8%と高くなっている。

居住環境別でみると、「指定避難所や指定緊急避難場所と安全な避難経路を確認している」では〈商店街〉が41.9%と高くなっている。

地域別でみると、「指定避難所や指定緊急避難場所と安全な避難経路を確認している」では〈県央地域〉が35.2%と高くなっている。「指定避難所や指定緊急避難場所があることを知らない」では〈県北地域〉が18.2%と高くなっている。

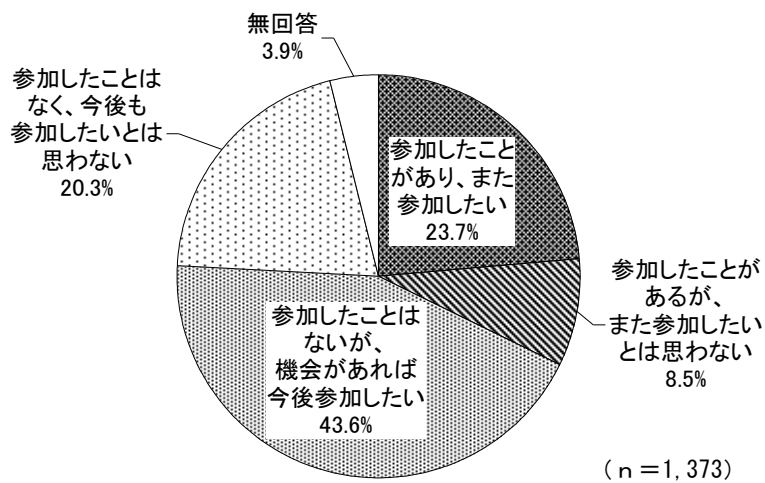
市町別でみると、「指定避難所や指定緊急避難場所があることを知らない」では〈町〉が14.2%と高くなっている。

(4) 防災訓練の参加状況

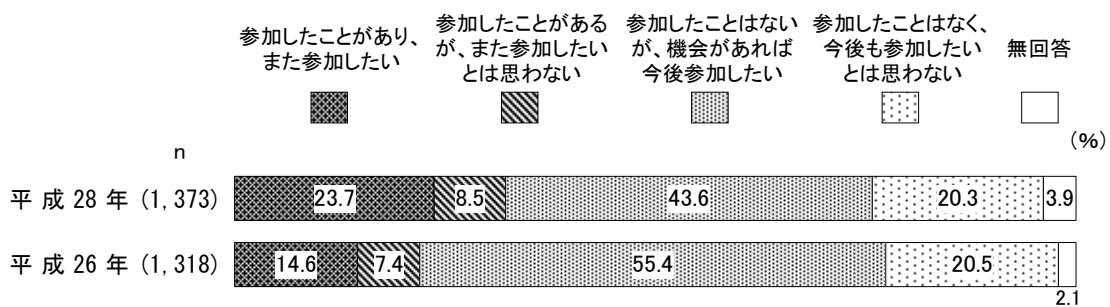
問13 あなたは、県や市町、自治会、企業等が行っている防災訓練に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,373]

1	参加したことがあります、また参加したい	23.7%
2	参加したことがあるが、また参加したいとは思わない	8.5
3	参加したことはないが、機会があれば今後参加したい	43.6
4	参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない	20.3
	(無回答)	3.9

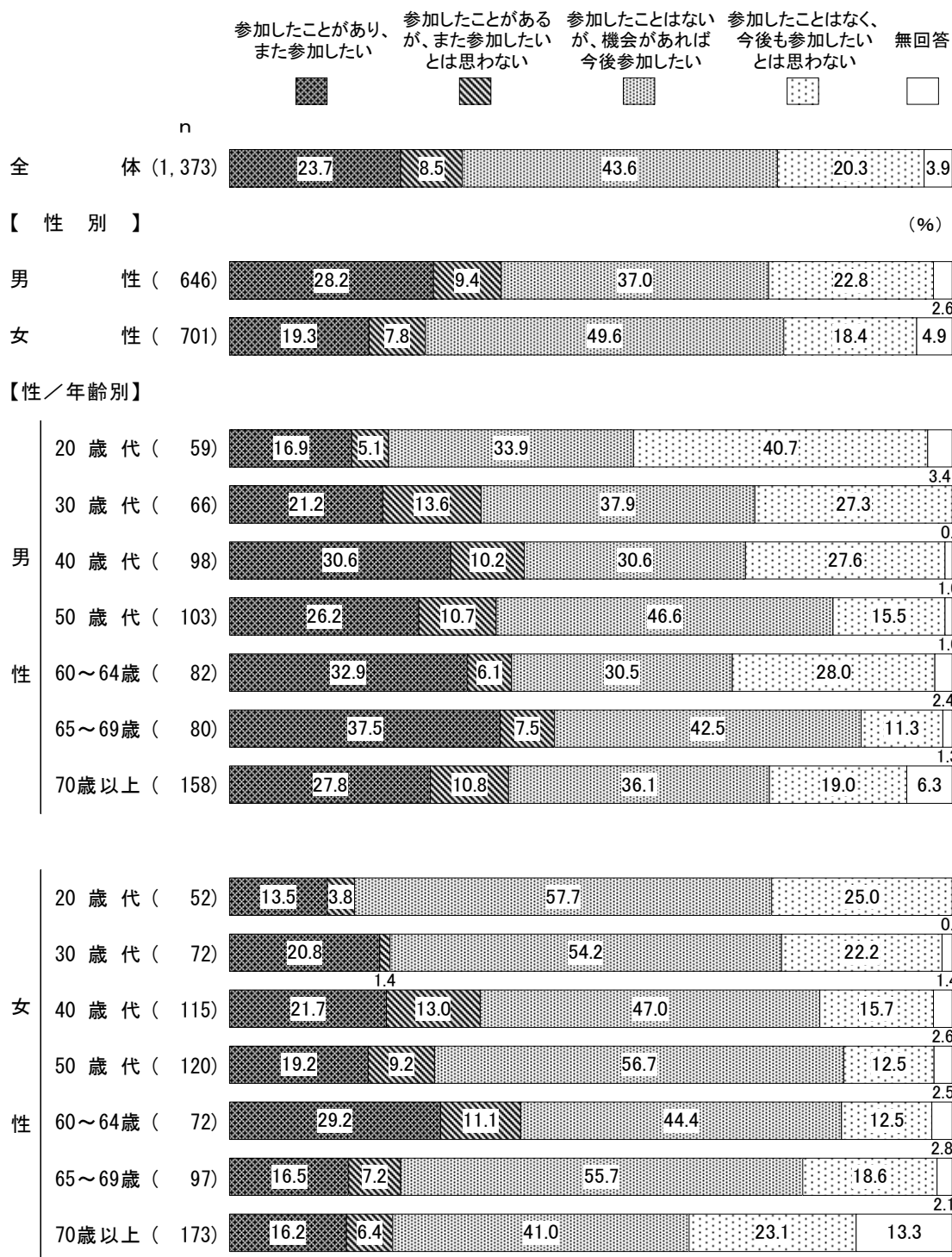


全体でみると、「参加したことがあります、また参加したい」(23.7%)は2割を超えている。「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」(43.6%)は4割を超えており、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」(20.3%)は2割となっている。



平成26年の調査結果と比較すると、「参加したことがあります、また参加したい」が9.1ポイント増加している。一方、「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」が11.8ポイント減少している。

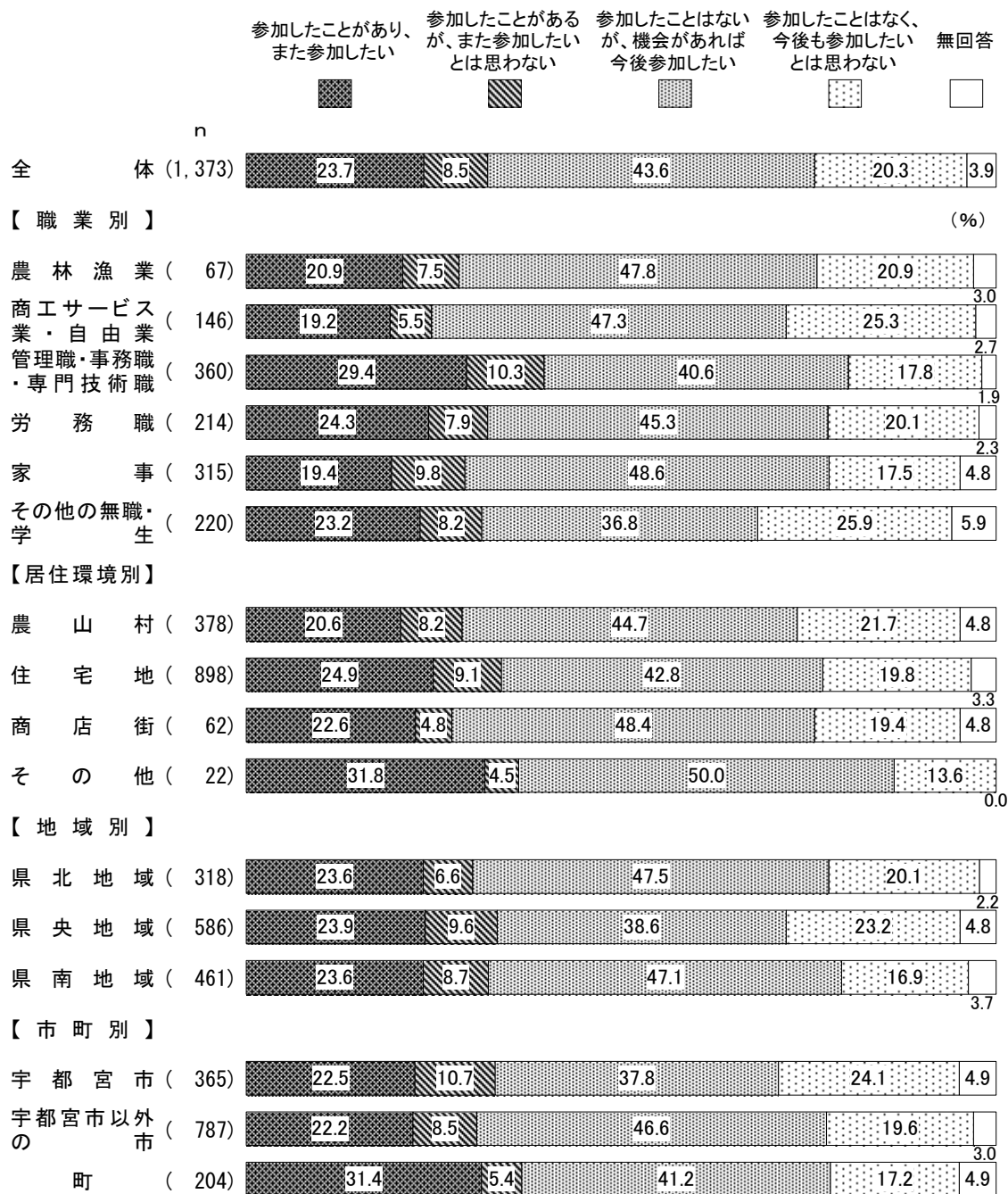
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈男性〉(28.2%)が〈女性〉(19.3%)より8.9ポイント高くなっている。「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」では〈女性〉(49.6%)が〈男性〉(37.0%)より12.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈男性65～69歳〉が37.5%と高くなっている。「参加したことはない、今後も参加したいとは思わない」では〈男性20歳代〉が40.7%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が29.4%と高くなっている。「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈その他の無職・学生〉が25.9%、〈商工サービス業・自由業〉が25.3%と高くなっている。

居住環境別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈住宅地〉が24.9%と高くなっている。

地域別でみると、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈県央地域〉が23.2%と高くなっている。

市町別でみると、「参加したことがあり、また参加したい」では〈町〉が31.4%と高くなっている。「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」では〈宇都宮市〉が24.1%と高くなっている。

#### (4-1) 参加したことがある防災訓練

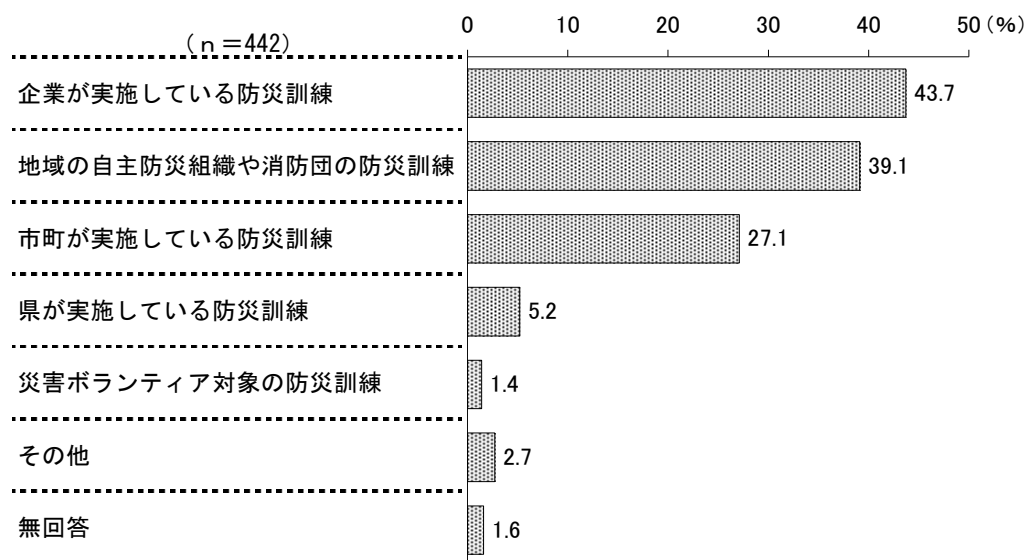
(問13で「参加したことがあります、また参加したい」、「参加したことがあるが、また参加したいとは思わない」を選んだ方のみお答えください)

問13-1 あなたは、今までどのような訓練に参加したことがありますか。

次の中からいくつでも選んでください。

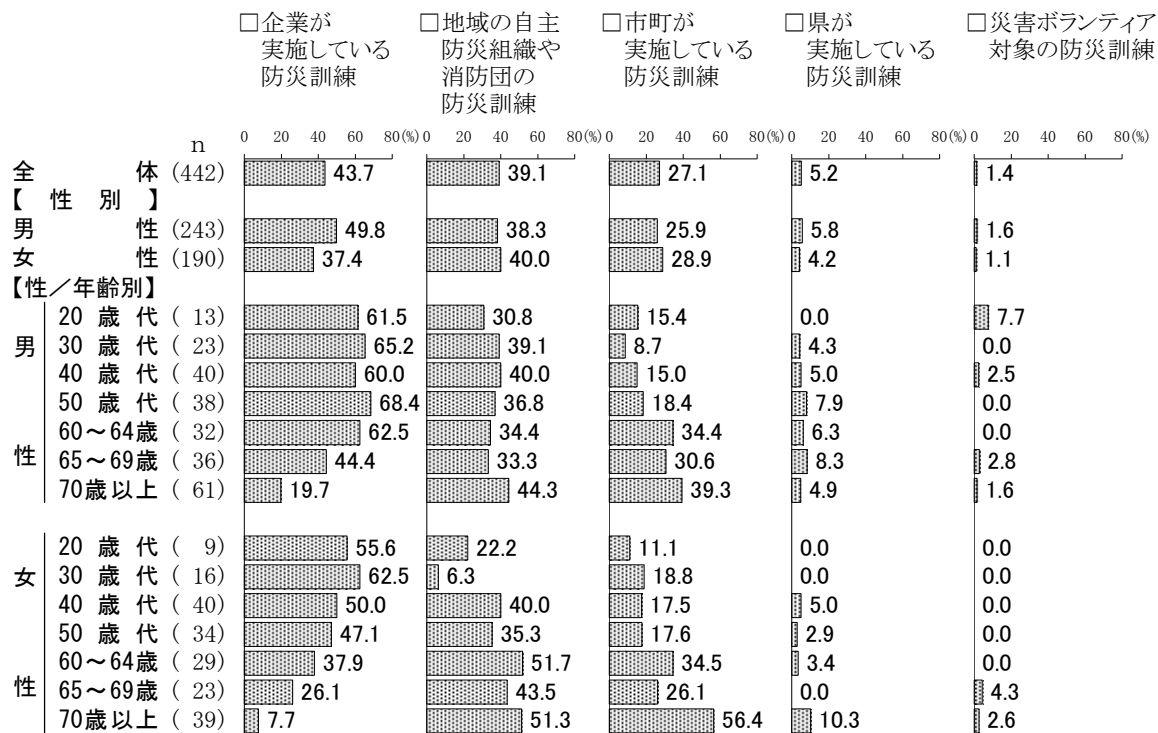
[n=442]

1 県が実施している防災訓練	5.2%
2 市町が実施している防災訓練	27.1
3 地域の自主防災組織や消防団の防災訓練	39.1
4 企業が実施している防災訓練	43.7
5 災害ボランティア対象の防災訓練	1.4
6 その他	2.7
(無回答)	1.6



全体で見ると、「企業が実施している防災訓練」(43.7%)が4割を超えて最も高く、次いで「地域の自主防災組織や消防団の防災訓練」(39.1%)、「市町が実施している防災訓練」(27.1%)の順となっている。

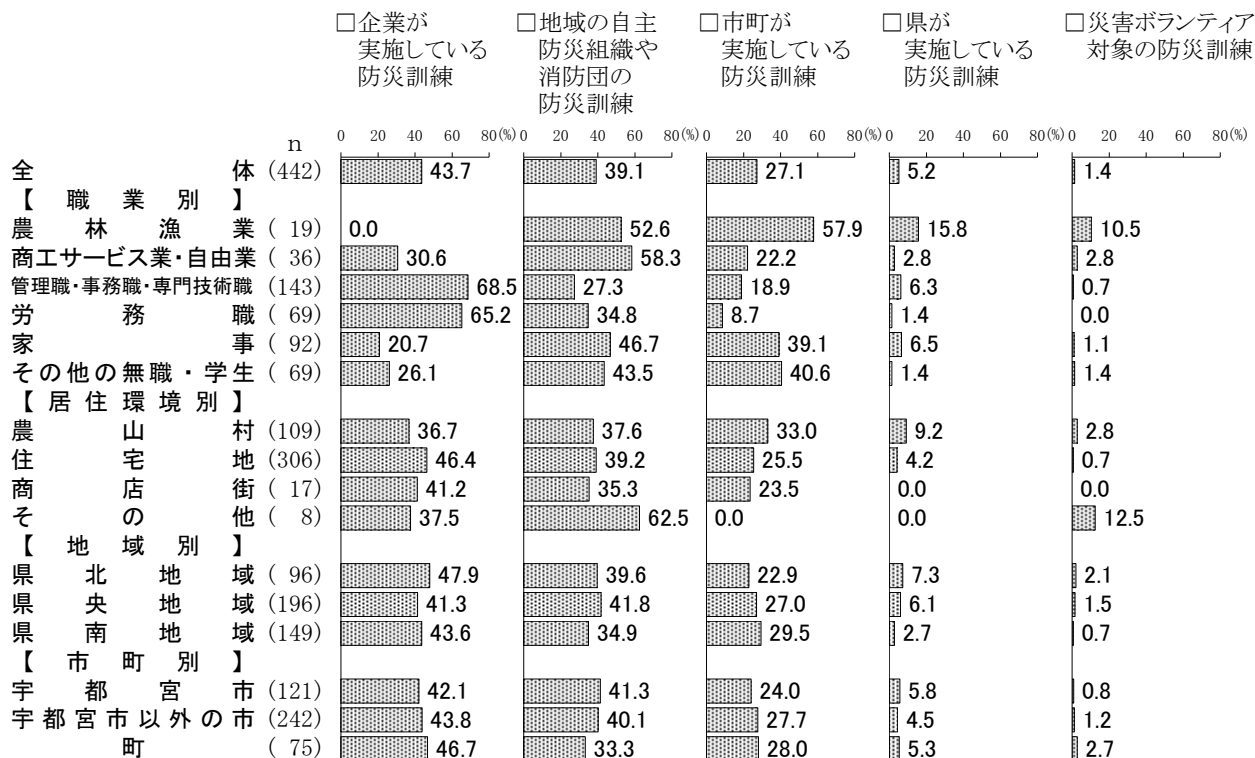
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「企業が実施している防災訓練」では〈男性〉(49.8%)が〈女性〉(37.4%)より12.4ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「企業が実施している防災訓練」では〈男性50歳代〉が68.4%と高くなっている。「地域の自主防災組織や消防団の防災訓練」では〈女性60～64歳〉が51.7%、〈女性70歳以上〉が51.3%と高くなっている。「市町が実施している防災訓練」では〈女性70歳以上〉が56.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「企業が実施している防災訓練」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が68.5%、〈労務職〉が65.2%と高くなっている。「地域の自主防災組織や消防団の防災訓練」では〈商工サービス業・自由業〉が58.3%、〈農林漁業〉が52.6%と高くなっている。「市町が実施している防災訓練」では〈農林漁業〉が57.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、「企業が実施している防災訓練」では〈住宅地〉が46.4%と高くなっている。「市町が実施している防災訓練」では〈農山村〉が33.0%と高くなっている。

地域別でみると、「企業が実施している防災訓練」では〈県北地域〉が47.9%と高くなっている。「地域の自主防災組織や消防団の防災訓練」では〈県央地域〉が41.8%と高くなっている。

市町別でみると、「企業が実施している防災訓練」では〈町〉が46.7%と高くなっている。「地域の自主防災組織や消防団の防災訓練」では〈宇都宮市〉が41.3%、〈宇都宮市以外の市〉が40.1%となっており、〈町〉(33.3%)に比べて高くなっている。

(4-2) 防災訓練に参加したことがない理由・今後参加したいと思わない理由

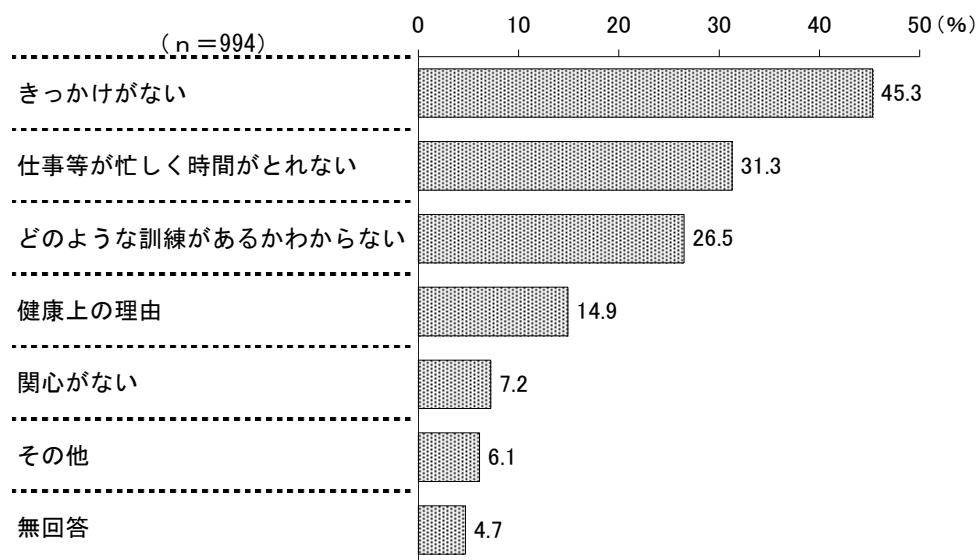
(問13で「参加したことがあるが、また参加したいとは思わない」、「参加したことはないが、機会があれば今後参加したい」、「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」を選んだ方のみお答えください)

問13-2 訓練に参加したことがない又は今後参加したいと思わない理由は何ですか。

次の中からいくつでも選んでください。

[n=994]

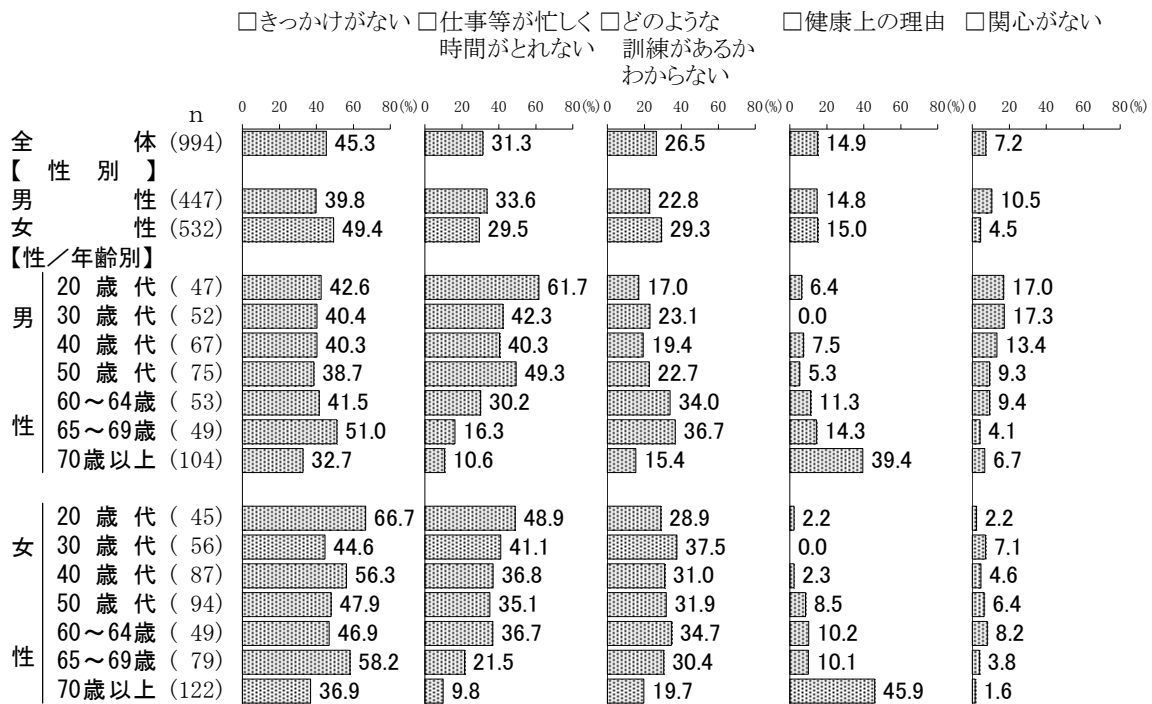
1	きっかけがない	45.3%	4	関心がない	7.2%
2	健康上の理由	14.9	5	どのような訓練があるかわからない	26.5
3	仕事等が忙しく時間がとれない	31.3	6	その他	6.1
				(無回答)	4.7



全体でみると、「きっかけがない」(45.3%)が4割半ばで最も高く、次いで「仕事等が忙しく時間がとれない」(31.3%)、「どのような訓練があるかわからない」(26.5%)、「健康上の理由」(14.9%)の順となっている。



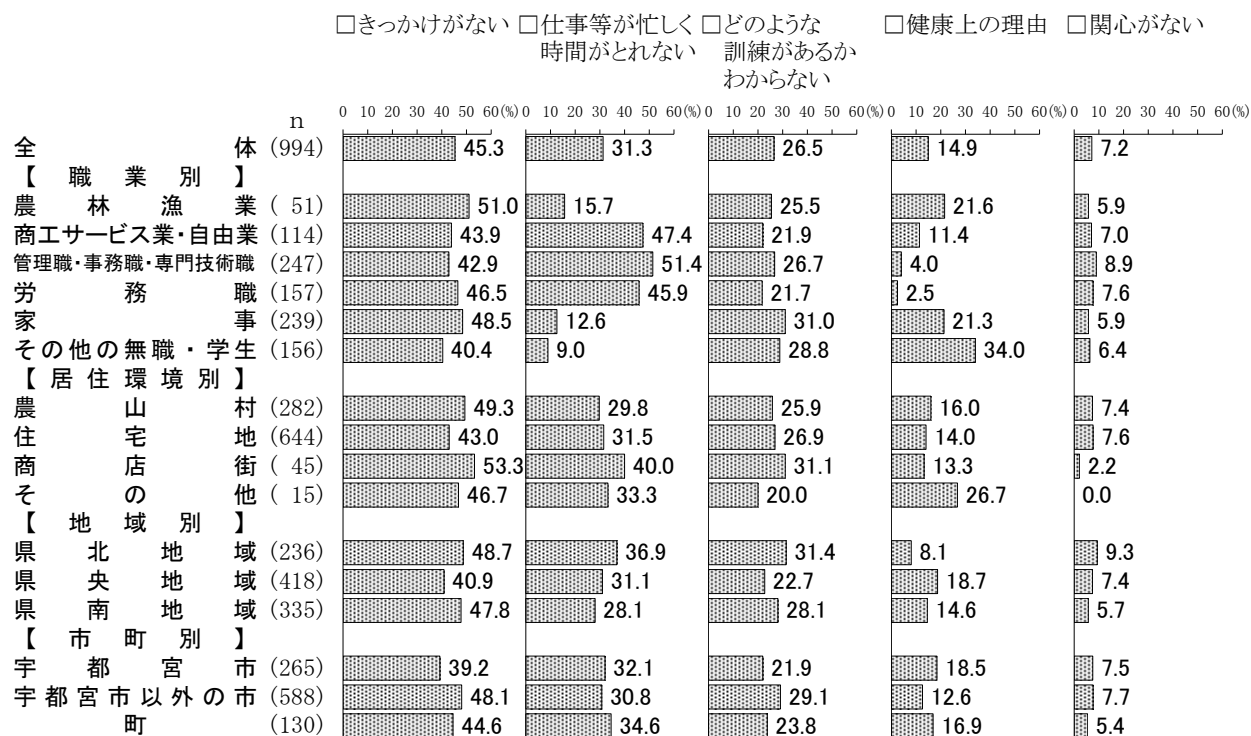
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「きっかけがない」では〈女性〉(49.4%)が〈男性〉(39.8%)より9.6ポイント高くなっている。「どのような訓練があるかわからない」では〈女性〉(29.3%)が〈男性〉(22.8%)より6.5ポイント高くなっている。「関心がない」では〈男性〉(10.5%)が〈女性〉(4.5%)より6.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「きっかけがない」では〈女性20歳代〉が66.7%と高くなっている。「仕事等が忙しく時間がとれない」では〈男性20歳代〉が61.7%と高くなっている。「どのような訓練があるかわからない」では〈女性30歳代〉が37.5%、〈男性65~69歳〉が36.7%と高くなっている。「健康上の理由」では〈女性70歳以上〉が45.9%、〈男性70歳以上〉が39.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「仕事等が忙しく時間がとれない」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が51.4%と高くなっている。「健康上の理由」では〈その他の無職・学生〉が34.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、「きっかけがない」では〈商店街〉が53.3%と高くなっている。「仕事等が忙しく時間がとれない」では〈商店街〉が40.0%と高くなっている。

地域別でみると、「きっかけがない」では〈県北地域〉が48.7%、〈県南地域〉が47.8%となっており、〈県央地域〉(40.9%)に比べて高くなっている。「仕事等が忙しく時間がとれない」では〈県北地域〉が36.9%と高くなっている。「どのような訓練があるかわからない」では〈県北地域〉が31.4%と高くなっている。「健康上の理由」では〈県央地域〉が18.7%と高くなっている。

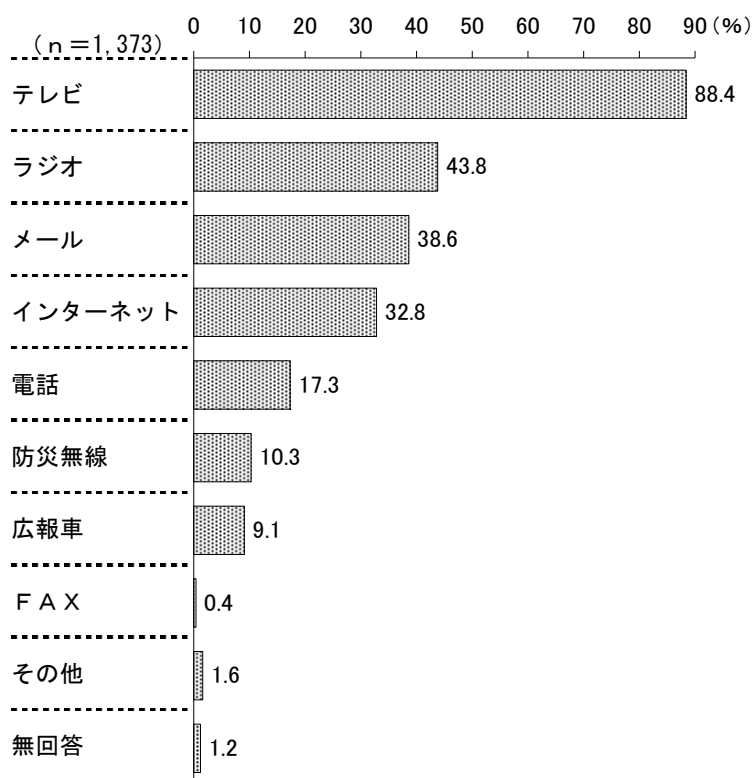
市町別でみると、「きっかけがない」では〈宇都宮市以外の市〉が48.1%と高くなっている。「どのような訓練があるかわからない」では〈宇都宮市以外の市〉が29.1%と高くなっている。

(5) 災害が発生したときなどの緊急時の情報入手手段

問14 あなたは、災害が発生した際などの緊急時にどのような手段で情報を得ていますか。  
次の中からいくつでも選んでください。

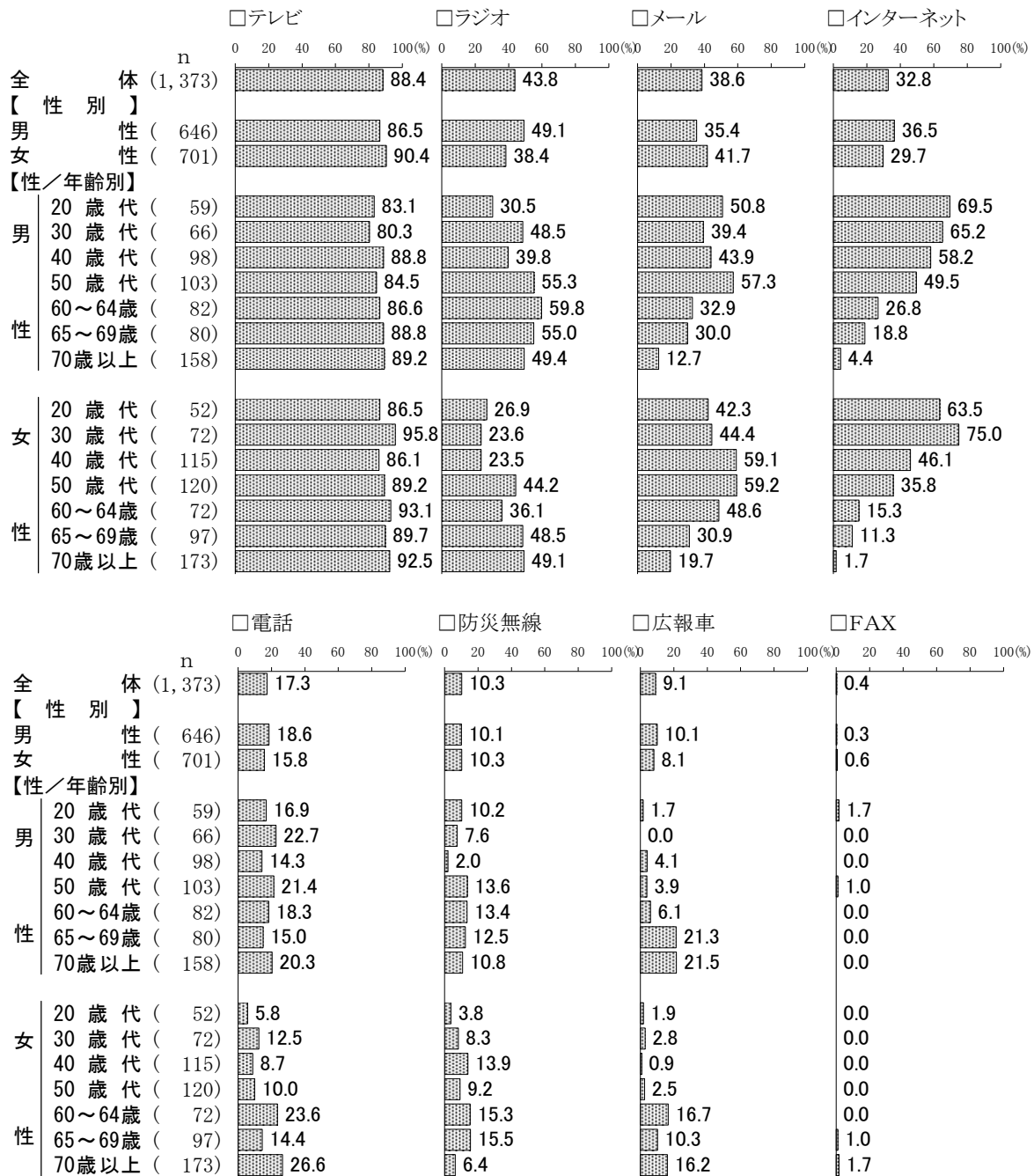
[n=1,373]

1	テレビ	88.4%	6	電話	17.3%
2	ラジオ	43.8	7	F A X	0.4
3	防災無線	10.3	8	インターネット	32.8
4	広報車	9.1	9	その他	1.6
5	メール	38.6		(無回答)	1.2



全体で見ると、「テレビ」(88.4%)が9割近くで最も高く、次いで「ラジオ」(43.8%)、「メール」(38.6%)、「インターネット」(32.8%)、「電話」(17.3%)の順となっている。

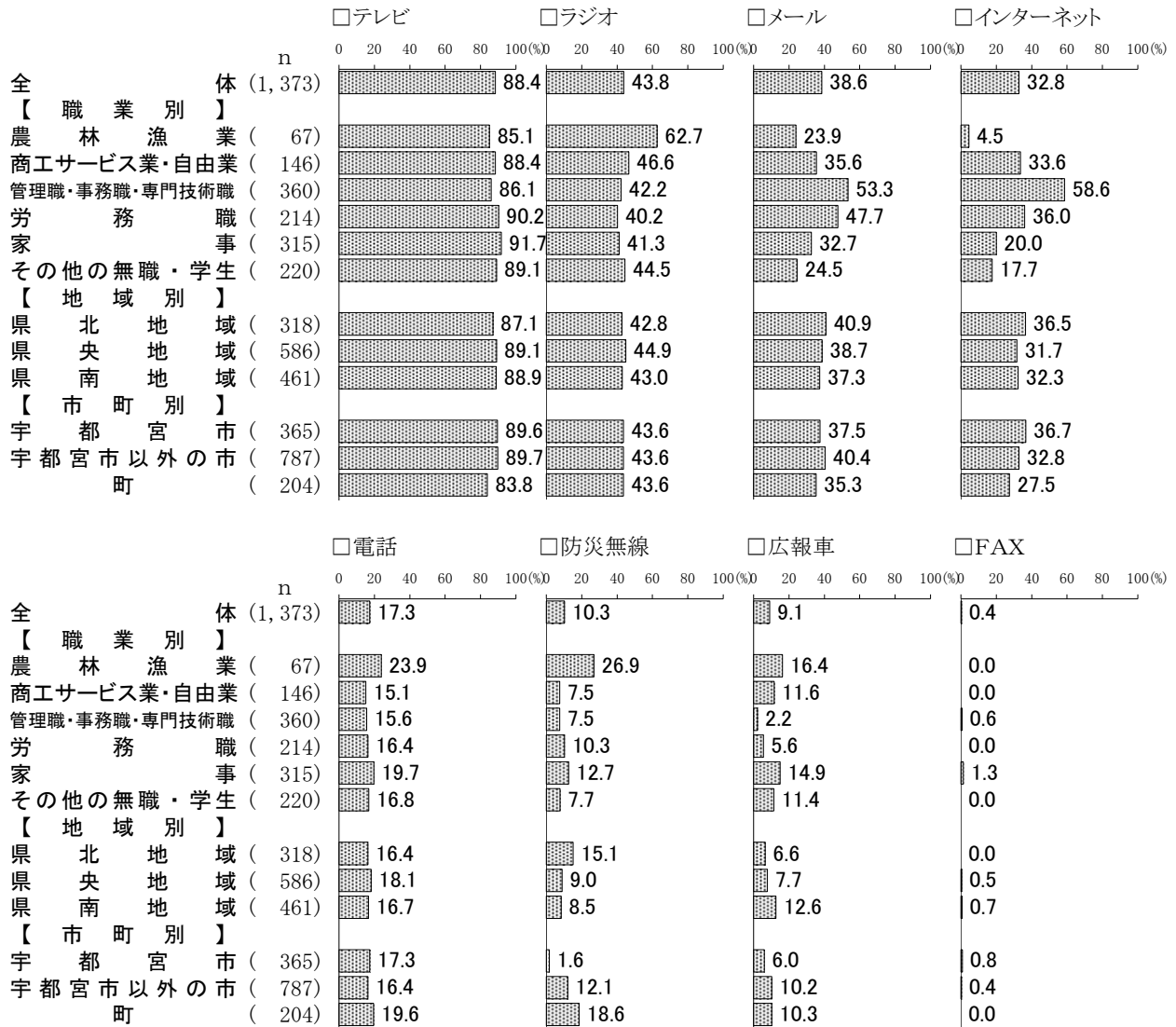
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「ラジオ」では〈男性〉(49.1%)が〈女性〉(38.4%)より10.7ポイント高くなっている。「インターネット」では〈男性〉(36.5%)が〈女性〉(29.7%)より6.8ポイント高くなっている。「メール」では〈女性〉(41.7%)が〈男性〉(35.4%)より6.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「ラジオ」では〈男性60～64歳〉が59.8%と高くなっている。「メール」では〈女性50歳代〉が59.2%、〈女性40歳代〉が59.1%と高くなっている。「インターネット」では〈女性30歳代〉が75.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、「ラジオ」では〈農林漁業〉が62.7%と高くなっている。「メール」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が53.3%と高くなっている。「インターネット」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が58.6%と高くなっている。「防災無線」では〈農林漁業〉が26.9%と高くなっている。

地域別でみると、「インターネット」では〈県北地域〉が36.5%と高くなっている。「防災無線」では〈県北地域〉が15.1%と高くなっている。「広報車」では〈県南地域〉が12.6%と高くなっている。

市町別でみると、「インターネット」では〈宇都宮市〉が36.7%と高くなっている。「防災無線」では〈町〉が18.6%と高くなっている。

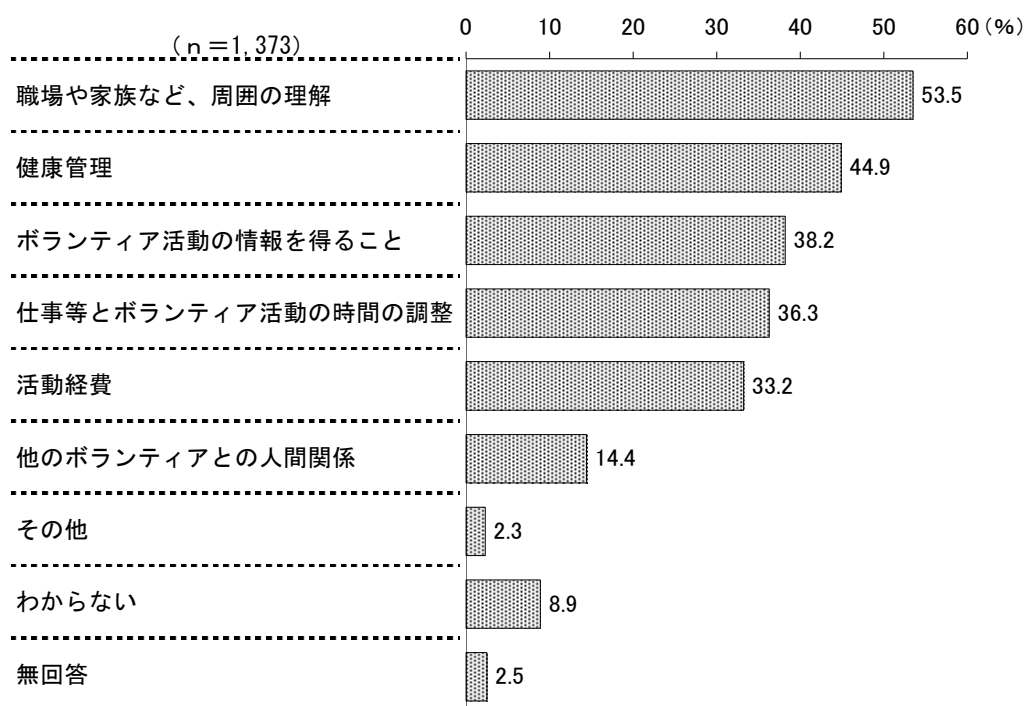
(6) 災害ボランティア活動をする上で重要なこと

問15 近年、各種災害時において、災害ボランティアの活動が注目されていますが、災害ボランティア活動をする上で重要と思われることは何ですか。

次の中からいくつでも選んでください。

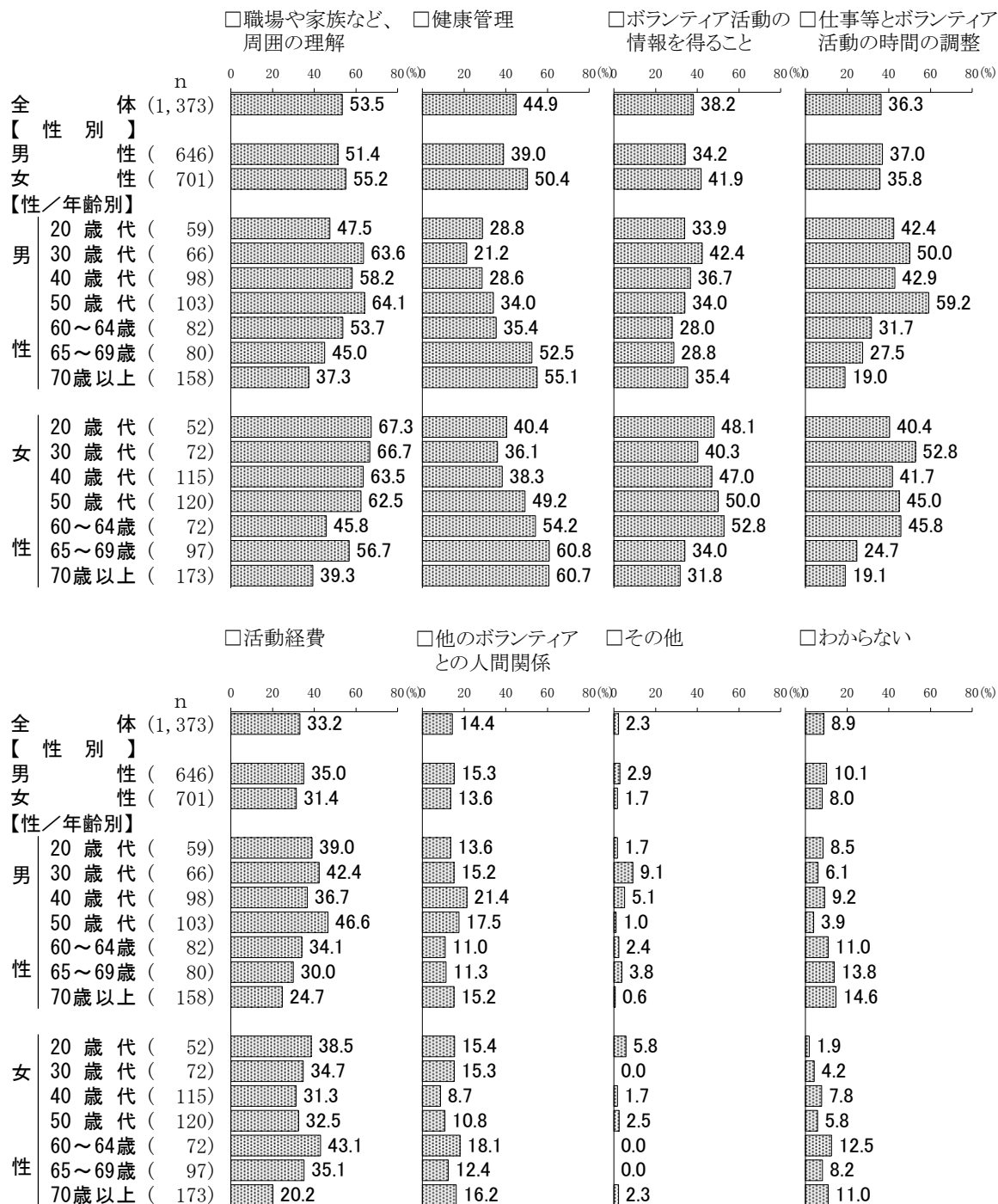
[n=1,373]

1	職場や家族など、周囲の理解	53.5%	5	ボランティア活動の情報を得ること	38.2%
2	健康管理	44.9	6	他のボランティアとの人間関係	14.4
3	仕事等とボランティア活動の時間の調整	36.3	7	その他	2.3
4	活動経費	33.2	8	わからない	8.9
				(無回答)	2.5



全体で見ると、「職場や家族など、周囲の理解」(53.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「健康管理」(44.9%)、「ボランティア活動の情報を得ること」(38.2%)、「仕事等とボランティア活動の時間の調整」(36.3%)、「活動経費」(33.2%)の順となっている。

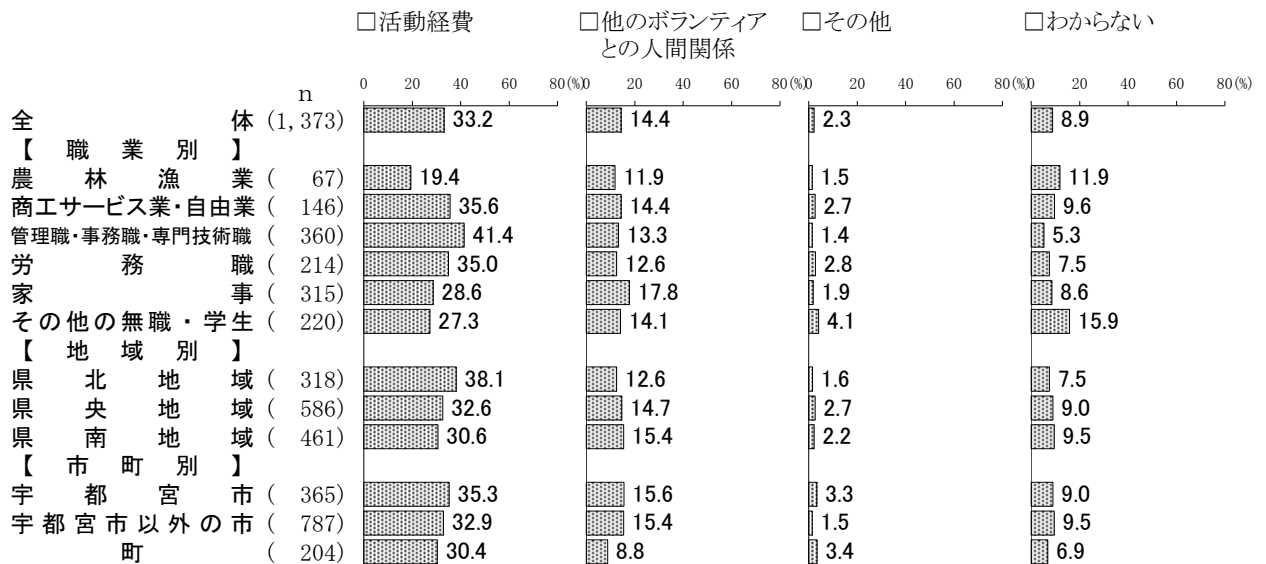
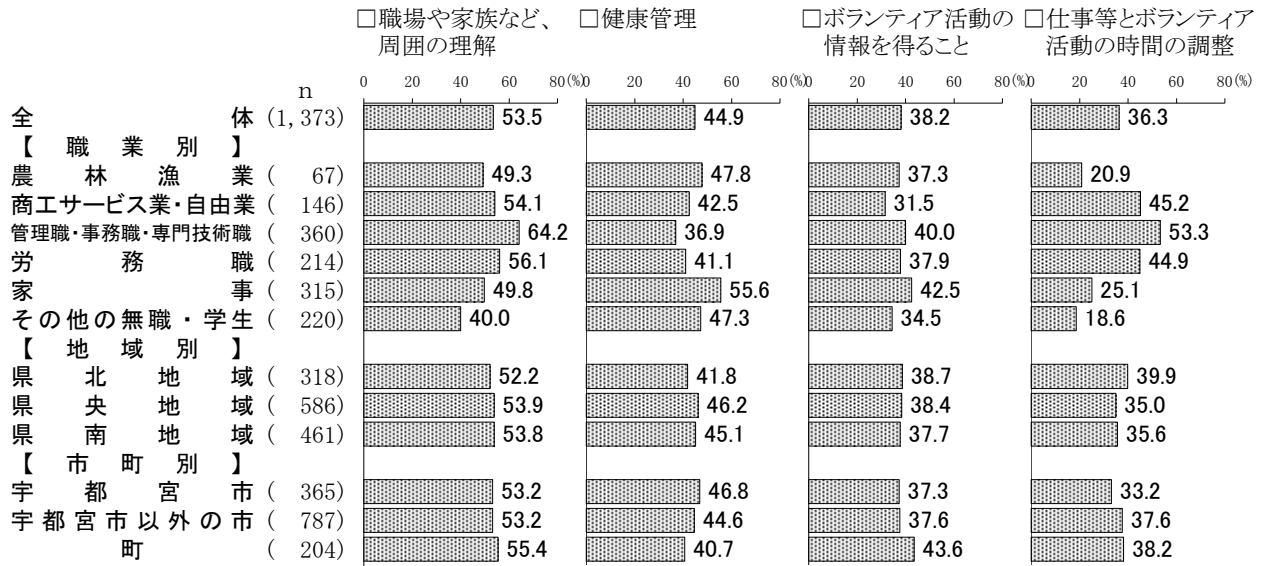
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「健康管理」では〈女性〉(50.4%)が〈男性〉(39.0%)より11.4ポイント高くなっている。「ボランティア活動の情報を得ること」では〈女性〉(41.9%)が〈男性〉(34.2%)より7.7ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「職場や家族など、周囲の理解」では〈女性20歳代〉が67.3%、〈女性30歳代〉が66.7%と高くなっている。「健康管理」では〈女性65~69歳〉が60.8%、〈女性70歳以上〉が60.7%と高くなっている。「ボランティア活動の情報を得ること」では〈女性60~64歳〉が52.8%と高くなっている。「仕事等とボランティア活動の時間の調整」では〈男性50歳代〉が59.2%と高くなっている。「活動経費」では〈男性50歳代〉が46.6%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「職場や家族など、周囲の理解」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が64.2%と高くなっている。「健康管理」では〈家事〉が55.6%と高くなっている。「仕事等とボランティア活動の時間の調整」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が53.3%と高くなっている。「活動経費」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が41.4%と高くなっている。

地域別で見ると、「仕事等とボランティア活動の時間の調整」では〈県北地域〉が39.9%と高くなっている。「活動経費」では〈県北地域〉が38.1%と高くなっている。

市町別で見ると、「健康管理」では〈宇都宮市〉が46.8%と高くなっている。「ボランティア活動の情報を得ること」では〈町〉が43.6%と高くなっている。